

2009年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座 《講義録2限目》

投稿者:「防災塾・だるま」中村 俊光

《写真提供:神奈川大学 山本先生》

- ◆開催月日:2009年10月15日(木)
- ◆開催時間:14:00~16:00
- ◆開催場所:KUポートスクエア14F

テーマ/神奈川県防災対策の現状と課題



◆講師紹介◆杉原 英和(すぎはら ひでかず)
神奈川県 温泉地学研究所
企画調整担当部長

- ◆テーマ/概要◆神奈川県防災対策の現状と課題について
神奈川県の防災対策とその取り組みについて説明し、行政と県民の協働した防災活動の重要性について説明する。

①防災の法・制度の基本体系:昭和36年制定「災害対策基本法」は総合的かつ計画的な防災行政の整備及び推進のための基本法で、防災に関する組織・防災計画・災害予防・応急対策・復旧・財政金融据置などが規定されている。②災害発生後の対策内容と課題:体制・情報・避難・医療救護・物資・災害廃棄物・火災・交通・輸送・被害認定・住宅・復興などの各対策の現状と課題について。③災害発生前の対策内容と課題:予防対策には、時間とお金がかかる。等々の講義を頂きました。

司会進行の高橋徳美さん



◆講義前の教室風景



◆真剣な眼差しで講義を聴く受講生



◆後記:国や県または各市町村では、必然として災害への取り組みはなされているが、最終的には当事地域に住む住人や近隣住人の支え(頑張り)なしには、事前対策も事後対策も成立しない。しかし、個人が果たさなければならない役割も多々あり、まずは、自分の身は自分で守ってこそその防災ではないかと再認識させられた講義であったと思います。